

研究者情報

| | | | |
|------------|----------------------|--------------|----------------|
| フリガナ 氏名 | サワダ ダイゴ 澤田 大吾 | 職名/学位 | 教授/修士(学術) |
| 所属 学科 | 一般教科 | 所属学会 | 日本政治学会, 日本諸島学会 |
| 専門 分野 | ・アメリカ政治経済史 ・日本経済史 | 利用可能な 設備等 | 特になし |

研究テーマ

日本政治経済史

日本経済史研究

戦後の日本政治経済史研究

1961年の農業基本法成立以降、日本社会は大きく変化する。地方に眠る人工を都市へ流出させ、一方で都市は人口を受け入れて賃金労働者になる。地方は過疎化が始まり、都市は過密化した社会問題が表面化してくる。

これは現在の日本社会が抱える問題の出発点として考えることができる。現在の地方の衰退は、高度経済成長期から長期展望を考えれば予測できたはずであった。しかし、1990年代の日本政治の混乱からバブル経済崩壊以降なかなか政治的・経済的な安定がなかったために、地方の潜在的に潜む問題を解決できなかったことが、現在の地方衰退につながった。

今後、それぞれの地方が抱える問題点を具体的に抽出し、その解決となる糸口を探し出すことを行うことが研究テーマとなる。

本研究の成果・適用分野・アピールポイント

地方経済の特長の抽出

地方に眠るソフト面(人)の研究をしてきた。特に、農林水産省が主催する「聞き書き甲子園」へ学生を派遣してきた。そこで、指名された人物からインタビューを行い、後世に残したい人、文化、風習などを調査して編集してきた。地方独自の特長を人から読み取り、地方の活性化につなげていく手法が独自のものである。

提供可能な連携

| 技術相談 | 共同研究 | 受託研究 | 施設利用 | 機器利用 |
|------|------|------|------|------|
| 可 | 可 | 可 | 可 | 可 |